

研修親睦旅行で本山・西本願寺参拝!
 ~国宝姫路城も見学しました~



本山・西本願寺にて (2711.26)



発行所
 岡谷市郷田一丁目6番3号
 TEL(0266)22-2524
 金松山 敬念寺
 発行
 敬念寺門信徒会
 編集
 会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
 彼(か)の人との
 出会(であ)いの時間

小僧の目

▼現在お寺は「寺院の将来あるべき姿の検討と対策」を具体化するために、敬念寺と門信徒会の中・長期ビジョンの計画検討を行っております▼「小僧の目」も一度原点に戻って「お寺は何のためにあるのか」と、自問自答してみました▼浄土真宗の場合、親鸞聖人を宗祖と仰ぎ①教義の宣布②法要・儀式の執行③信者等の教化育成④宗教施設の維持・管理⑤その他目的達成のための業務など法的寺院存在目的を基に一般的には、歴史遺産を守ることや法事・儀式を行う場所▼お墓などを管理する場所に代表する目に見えたものばかりでなく、門信徒の方々が先祖代々支えてこられたお寺にはもっと大切な役割、人々の心のよりどころ、命の大切さやその命の灯を護り続けてきた歴史があります▼本来お寺は仏の教えを伝道する場であり、その教えを聞き、その教えを喜び、その教えを指針とする門信徒の方々が集える場が第一の存在理由でなければなりません▼当寺では「朝七時はみ仏や彼の人(亡き人)との出合いの時間」としての毎朝の勤行、日曜日位は時間を欠いてと始めた「日曜礼拝」、全国より招待する布教使の先生方による「月例法話会」などの機会を設け、一人でも多くの方のご参加を願っています▼が、なかなか大勢の方の足が向かないばかりか敬遠されがちなのが実情です▼仕事が忙しいからや趣味を優先、まだ若いから、一度参加した(服用した)があまり実生活には役に立たない(効かない)からなど・・・▼効かないものもありますが薬のような即効薬ではありません。仏様の教えは、聞いて自分の心を育てるのでから体質改善のように時間がかかります▼冒頭の検討事項にありますように、今後は聞法を中心とした伝道機能ばかりでなく、門信徒の心に寄り添い、悩み・要望にも応えていけるようなお寺にしてまいります。

釋 玄真

ご寺院行事

- 3月20日(日) 春彼岸法要 前10:00
 講師 日野宗邦先生 (新潟県)
- 6月12日(日) 第5回早朝公開講座 前 7:00
 講師 志村史夫先生 (静岡県)
- 7月9日(土) 第33回ファミリー参拝 後 6:00
 (キッズサンガ)

ご定例法話会

- 4月20日(水) 講師 高橋純明先生 (新潟県)
- 5月20日(金) 講師 荻谷光影先生 (広島県)
- 6月20日(月) 講師 佐々木蓮乗先生 (兵庫県)
- 7月20日(水) 講師 遠山信敬先生 (福井県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

—敬念寺のあるべき姿の検討と対策(中・長期ビジョン)構築に向けて— **No.4**
「門信徒会財務基盤強化(財務体質健全化)」等の検討を進めています!

寺院の将来あるべき姿の検討と対策」を具体化するため、「敬念寺と門信徒会の中長期ビジョンの計画検討、推進」として常任委員会にて検討を行っています。(百十四号、百十六号参照)

検討八項目のうち、緊要度が高いと分類された

⑤教化事業
 ⑥門信徒会財務体質健全化

⑦中期営繕計画
 ⑧門信徒の悩み・要望対応

◆ 上記の取組みを行っている。四月の年次総会に報告できるように現在調整していますが、今号の紙面では、⑥門信徒会財務体質健全化及び⑦中期営繕計画を中心に検討の経過などお知らせいたします。

◆ ⑥門信徒会財務基盤強化(財務体質健全化)

◆ 「年会費三千元以上の取組み現状分析

◆ 現在門信徒会費は、三千元以上となっており、財務基盤強化のため、お世話人を通じ協力をお願いしています。おかげさまで多くの皆様に篤いお心を寄せていただいています。一方、昨年実施した全お世話人対象のアンケートでは、「会費三千元以上」は「説明しづらい」「以上は分かりにくい」と回答された方が約四割を占め、現状の難しさの一端がうかがえます。また、ここ数年の経過を見ても、この取組み方法は限界に来て

◆ 一般会計の収入、支出の現状分析と中長期予測

◆ 「以上」の取組みを行っているが困難さや限界がある。(前述)
 ・消費税八%に増税、通信事務費等の経費増加により支出漸増。
 ・収支バランスを保つため、支出の「営繕積立金」を減少させて調整している。(当初百五十万円が年々減少し現在は九十万円に)
 ・これらにより、予算編成が年々厳しくなっています。

◆ 大型法要に備えた財務見直し

◆ 今秋から厳修される、本山伝灯奉告法要に「門信徒懇志」の要請があり(当寺への要請額二百

万円余)、年末までに納入が必要となっており、これへの対応方策が急務となっています。
 ・当寺においても、中期的には住職継職法要等の法要が予測されます。

◆ ⑦中期営繕計画「営繕積立金」の現状分析、寺院保守営繕、補修費用の確かな準備方策

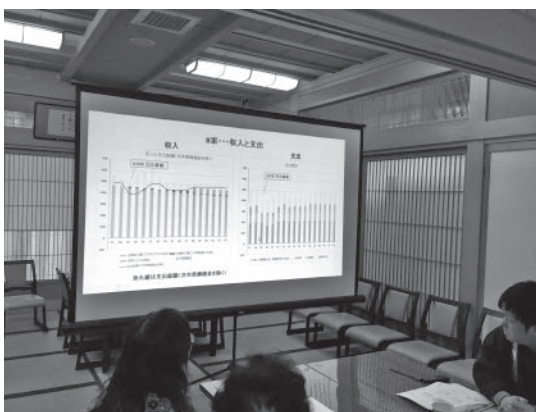
◆ 現在寺院施設の、会館・庫裏は新築後二十五年を経過し、外壁等経年劣化しています。施設を良好な状態で保守維持していくために、改修の手当てを講じる時期にきています。
 ・来るべき寺院施設の改修費用に充てるため、皆様のご理解ご協力をいただき平成十五年から、会費を改定し「営繕積立」を開



常任委員会で検討しています (28.1.16)

◆ 始し、現在までに千二百万円余の積立金が確保されています。
 ・改修すべき時期が近付く中、毎年度の営繕積立金は、前述のように一般会計の収支バランスをとるため、年々縮小せざるを得ない状況になっています。
 ・会館・庫裏建設から二十五年を経過し、保守営繕(外壁等の改修)の時期が来ている中、これに対応できる確かな資金確保策が必要です。

◆ 以上、主に門信徒会財務基盤強化及び、中期営繕計画を中心とした経過報告ですが、詳細は年次総会で報告し今後の対応策等を協議していただく予定です。
 (文責：千原、谷腰、白田)



―門信徒投稿ひろば―

生かされている命を

生きること

茅野市 川嶋 圭子



後期高齢者

と言われる歳になり短くなつた残りの月日を思うこの頃、これ

までの人生や人の死等色々と考えられる様になりました。昨夏、長く家族の様に親しくしていた方が六十五歳で心臓発作により急逝され、人は前触れもなく急に亡くなるということ、命の儚さをつくづく感じました。スポーツ万能で御柱祭を愛して明るく楽しい人で六年前主人の葬儀では涙ながらに心のもった弔辞を読んで下さいました。

私の二女も二十二年前に二十五歳で急逝しました。我が子に先立たれた悲しさとつらさで早く病気になるって娘の処に行きたいと願ったものでした。それでも、人はどんなに苦しんでも生きていかなければなりません。

私の父は、私が生まれて四週間後に満州で三十歳で病死して、母は姉・兄と幼子三人を連れて北九州市小倉に開戦前の昭和十六年に帰国しました。父が健在でいたら、現地召集で兵役にとられ家族は満州からの悲惨な引き揚げで、生きて帰国出来なかつたかも分かります。幼い私は中国人に預けられ、残留孤児の運命だったかも分かりません。

もう一つの運命の分かれ道は、小倉は広島に次ぐ原爆投下予定地でしたが、八月九日当日は何らかのトラブルで出撃が遅れ、朝は晴

れていた空が曇って視界不良で投下出来ず次の予定地の長崎に向かったのです。僅かの時間の差で数十万人の生死が分かれたのです。その事を後に聞かされたから

は、長崎の方達に申し訳ない思いで、原爆の日には特別な気持ちで黙祷を捧げています。同郷で学校の先輩の主人との出会いも被爆していれば無かつた縁だと思いません。

これらの偶然が重なり、この歳まで元気に生きてこられたのは、幼子を残し早世して阿弥陀様の下で仏様になった父の加護のお陰様だと信じています。満鉄で職場結婚して二十八歳で父と死別し戦前戦後の大変な時代に教師をしながら三人を育ててくれた母は、二十年前に八十五歳で父の処へ旅立ち

ました。娘二人の四人の孫達も元気に育ち命は受継がれています。

昨秋、主人の七回忌と二女の二十三回忌をお寺様で行うことが出来ました。父母から頂いた大切な命をいつか訪れる最後の日まで健康に気をつけて大事に生きていきたいと思えます。

トピックス!

―敬念寺ホームページ公開―

皆様、ご覧になりましたか? 当寺のHPが昨年十二月に公開されました。おかげさまでアクセス回数が増えて、「敬念寺」と入力するだけでヒットするようになりました。寺の沿革、行事案内、過去の敬念寺だよりや住職の虫めがね(折々の記)が載っていますので引き続き、どうぞご覧下さい。

編集後記

暖冬で降雪も少ない冬となり、県内でもひと月早い梅の便りが聞かれ、何か季節らしさが感じられなくなっています。今号では、中期ビジョン構築に向けて検討されている項目のうち財務基盤強化に関するものを掲載させていただきました。弥生三月、春彼岸法要の時期となりました。ご家族お揃いでご参拝ください。

(白田 記)

予告 第5回 敬念寺早朝公開講座

今年も早朝公開講座を下記のように開催いたします。

―「おかげさま」という「感謝の気持ち」の根拠を物理学的に解明―

専門の半導体結晶の研究は勿論、教育・宗教・古代文明などにも幅を広げる異色の物理学者である先生からお話しをお聞きします。

時・所 6月12日(日) 敬念寺本堂 前7:00~8:30

講師 志村史夫先生(静岡理工科大学教授) 講題 「おかげさま」

研修親睦旅行報告

昨年十一月二十六日〜二十七日の日程で京都・兵庫方面へ。初日は二年ぶりに本山・西本願寺を参拝。国宝の唐門や飛雲閣も拝観。二日目は真つ白に化粧直しされた国宝姫路城を見学しました。天気が心配されましたが、秋晴れの空に映える白鷺城が一行を迎えてくれ、車中や宿でも和やかな楽しい研修親睦旅行となりました。今回、初めて旅行に参加された方に投稿していただきました。



青空に映える姫路城をバックに記念撮影(27.11.27)

研修親睦旅行に参加して

東京都 大本 啓子

私は東京在住で仕事をしつつ、一週間ずつ兄と交代で母の介護に岡谷へ来ています。岡谷にいるとき、報恩講法要や孟蘭盆会法要に参拝させて頂き、ご住職や講師の先生のお話に心洗われる思いがいたしました。

今年の孟蘭盆会法要でお寺の旅行の事を知り母に伝えますと、本山参拝など旅の内容に心が動かされ、行きたいが自分は身体が不自由な為行かれないので私に行ってほしいと、早々に申し込んでしまいました。

西本願寺の阿弥陀堂では阿弥陀如来像に、御影堂では親鸞聖人の御真影に手を合わせ、心静かに母の思いと共に、家族の健康と平和に感謝しました。御真影の数珠の房に岡谷の生糸が使われていることや、おたかもりのご飯が二升使われていた事にびっくり。又、素晴らしい色合いと物語がある唐門や、中々入る事ができない飛雲閣も拝見できました。境内のイチヨウの木も見事に剪定され、時の流れを感じました。

姫路城では専門の案内人に連れられ天守閣まで上がりました。建物よりもより石垣にしても昔の人の知恵と力に圧倒されました。

門信徒会年次総会

—4月23日(土)午後6時から開催—

総会は地区世話人等の代議員制です。地区世話人を通じてご意見をお寄せ下さい。

日時:平成28年4月23日(土) 午後6時開会

場所:敬念寺本堂

議 題

1. 中・長期ビジョン検討状況報告
2. 平成27年度事業・会計報告
3. 平成28年度事業・予算案承認の件
4. その他

又、東大柱は二十五メートル位の樅の木を通し柱で歴史の重みを痛感しました。

バスガイドさんの博学さも印象に残った事の一つで、もう一度歴史の勉強をしたいものだと思わされました。

参加者の皆さんは初めてお会いする方々がほとんどでしたが、バスの中でも宴会でも和気あいあいと楽しく過ごさせて頂きました。

旅はリフレッシュできますね。これからの縁を大切に一日一日を大切に精いっぱい生きていこうと心改まる思いがしました。精いっぱい生きる事は両親の後ろ姿でもあります。この旅に参加させてくれた母に感謝。そしてこの旅の企画をして頂いた方々に感謝です。

春の彼岸・行事案内

彼岸とは、阿弥陀如来様のいる西方極楽浄土をさす言葉です。お彼岸には、親鸞さまに導かれて、阿弥陀様の浄土を願い、その「教えを聞く」(聞法)と受け止め、浄土往生したご先祖に感謝し、しのびたいものです。

- ・3月17日(木) 彼岸の入り 前7:00
 - ・3月20日(日) 春の彼岸法要(中日) 朝10:00
- 講師 日野宗邦先生 (新潟県)
講題 「浄土(彼岸)を願う」

*お彼岸中会館ロビーにて無人購買があります。
*20日は終了後お茶の接待があります。
カレンダー下貼りに記載の3月21日は3月20日の誤りです。



故 謙つる子様(94歳)の一周忌法要での孫・ひ孫さん達 (27.11.28)

No.6

シリーズ 住職さんといっしょ!